



# 世工振ニュース

編集・発行  
 公益社団法人 世田谷工業振興協会  
 〒154-0004 世田谷区太子堂 2-16-7  
 世田谷産業プラザ 2階  
 TEL (03) 3421-2863 FAX (03) 3422-4777  
 E-mail: info@setagaya-ia.or.jp  
 URL: http://www.setagaya-ia.or.jp/

# 謹賀新年

## 「新年を迎えて」会長挨拶

公益社団法人 世田谷工業振興協会 会長 片平 三郎



会員の皆様には、よき新年をお迎えのことと思います。本年も工業会や地域の発展のために、お力添えいただければ幸いです。

本年はオリンピック・パラリンピックが東京で開催されます。世田谷区でも馬術大会が馬事公苑で、アメリカ選手団が世田谷のグラウンドを使用します。海外の人たちがたくさん区内にいらっしやると思います。

私事で恐縮ですが、私の会社は、大正10年に創業地の新宿御苑隣から世田谷三宿に移転して来ました。その当時は田んぼと畑、そして松林の中に工場があったようです。工場は約40mの煙突があり、石炭を燃やし、オブラートの乾燥をしておりました。

私が継いだ昭和40年には、三宿、池尻に大手の工場が六社、中小企業が200社は超える一大工業地帯でした。そして、昭和47年頃、全国的な公害汚染への取り組みの中で、東京都も煙突のある工場に目をつけるようになり、当時は石炭から重油に燃料は変わっていたのですが、移転推奨の話しが出て、区内での工場操業を諦めました。世田谷区に用地を保育園、幼稚園で活用しないかと打診しましたが、区にはそんな発想はなかったですね。今と違って、予算も無かったようです。

昔は、工業会のメンバーはお互いによく知っていて、家族ぐるみの交流もありました。現在は会員同士の動静についてもよく知らないし、会社は何をしているのか分からなくなっています。時代も平成から令和に移りました。創立30周年を経過した世工振も大きく変わる時だと思えます。もっと若い方々が前面に出ていただく時だと思っています。

現在、ほとんどの会社が世代交代を迎えています。世工振もこの新しい世代を迎えるために、変わられた皆さんが出てきやすい環境をつくっていきたくと思っています。

また、世田谷区内には多くの大学があります。産学官の連携をもっと図りたいと思っています。世工振も共通の課題として「健康」を据え、例えば日体大などの体育系大学とは健康遊具・道具の開発、農大などの農業系大学とは健康食品の共同開発、昭和女子大など食育系の学部を持つ大学とは健康がらみの料理・加工品等の共同研究も考えてもいいのではと思います。

更に、世田谷区政ではまちづくりセンターと安心すこやかセンターの併設などを推進しておられますが、これにとどまらず、これらの遊具、器具を使った公園、健康食品、健康グッズなどを使用した高齢者向けのレストランの設置も面白いじゃないかと思えます。

いずれにしても、今年が、皆様にとって、良い年になりますよう、心より念願しております。

## 保坂展人世田谷区長より新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。  
(公社)世田谷工業振興協会会員の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
また、日頃より区内産業の振興や、地域経済の発展のためにご尽力いただいておりますことにこの誌面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。  
さて、世田谷区の人口は、平成29年、2017年に90万人を超え、昨年末で91万7千500人となりました。今後の推移により100万都市となると推計されています。大型マンションが数多く建設され、住宅都市のイメージが濃くなるのに従い、これまでの「工業振興」だけでなく、操業環境と住環境が調和した「住工共生」の取り組みを推進していく必要性が増してきています。  
このような中で、会員の皆様におかれましては、地域の住環境に配慮しながら優れた技術やノウハウを代々受け継ぎ、守り、そして次の世代へと繋ぎ、経済や産業の発展にご尽力されてきたことに深く敬意を表します。今後も是非「職人技」と呼ぶべき高度な技術や技能をさらに磨き、区内産業を益々発展させていただきたいと思っております。  
また、本年はいよいよ東京2020大会が開催され、世田谷区にも国内外から多くの観光客が訪れます。世田谷の魅力を一層向上させ、発信していくためにも、世田谷区の工業や世界に誇る技術や技能の紹介など皆様の益々のご協力をお願いいたします。  
結びに、(公社)世田谷工業振興協会会員の皆様の益々のご発展とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 2020年 新春経済講演会・賀詞交歓会のお知らせ

### 新春経済講演会

日時:2020年1月17日(金)  
15:00~16:15

会場:三茶しゃれなあどホール5階《オリオン》  
(世田谷区太子堂 2-16-7)

対象:一般区民・中小企業経営者等

講師:谷崎 泰明氏

(公益財団法人 日本台湾交流協会理事長)

講演テーマ:東アジア・東南アジアの政治経済情勢

参加費無料、定員80名 ふるってご参加ください。



### 新年賀詞交歓会

日時:2020年1月17日(金)  
17:00~18:40

場所:世田谷産業プラザ三階  
大会議室

(世田谷区太子堂 2-16-7)

会費:6,000円(立食パーティー形式となります)

対象:協会会員・関係者等

※当日は、「新春経済講演会」終了後、関係者のみ3階に移動して開催します。

## 「事業承継アンケート」への協力について

中小企業の事業承継が喫緊の社会的課題とされる現在、世田谷工業振興協会では会員企業の事業承継の支援を行なって参ります。

一社)せたがや中小企業経営支援センター(略称:SKC)と連携して進めていく予定です。

その検討のため、アンケートにご協力をお願いします。

今後、「セミナー・勉強会」や個別支援に向けた「相談会」の開催を検討していく予定です。

◆アンケート期間:令和2年1月31日迄

◆問合せ先 (一社) せたがや中小企業経営支援センター  
事業承継研究会 担当窓口 三瀬 様

(詳細は、別紙をご参照下さい。)

## 「新時代！環境経営と企業力改善セミナー」開催報告

### ■11月27日「パラダイムシフトの時代～気候変動制約とデジタル革命～」(三井物産戦略研究所 本郷尚氏)

気候変動制約からもたらされるエネルギー大転換とデジタル革命の課題とチャンスについて、国際金融・気候変動の国際交渉等の経験を通しての講義がありました。

結論として、気候変動とデジタル革命により変革の時代を迎えている。日本、世界はどこに行くべきか。どのようにあるべきか。

気候変動では、人間が出すCO<sub>2</sub>と自然が吸収するCO<sub>2</sub>のバランスが崩れたのが気候変動の原因である。問題は、エネルギーをどのように変えていくか、パリ協定が出発点であるが、21世紀後半にCO<sub>2</sub>排出量を半減以下にしようという流れである。

エネルギーを化石燃料から非化石燃料へと変えていく動きは、ますます進む。暖房も自動車も産業も、電気にシフトする時代に、すべてそうなる。エネルギー消費は減るが、発電量は伸びていくといった時代が到来する。日本の技術も、インバーターやヒートポンプなどの熱交換器系の技術が世界から再評価されていく。

デジタル革命では、インターネットで世界のすべてのもものがつながっていく時代になる。ソサイアティ5.0。明るい社会だと喜んでいる人もいるが怯えている人もいる。それはASEANである。中国の次はASEANだと意気込んでいたが、ドイツのプーマというシューズメーカーは、デジタルコントロール出来るのに、わざわざASEANに生産拠点を置く必要はないと、工場をドイツに引き上げた。より消費者に近いところに置くべきという発想。

今後、アイデアがけん引する経済システムの構築などの必要性や「考える」ことを重視する教育、技術やイノベーションは、誰のためのものかなどについて、研究する必要を指摘。

### 今こそ「国家百年の計」

#### 気候変動制約=エネルギー大転換とデジタル革命から見える課題とチャンス

- ① ネットゼロエミ時代の日本のエネルギー源は？
- ② 地方再考：人口減少を逆手に。
- ③ アイデアがけん引する経済システムへ。
- ④ 教育：「考える」を重視。
- ⑤ 誰のための技術/イノベーションか。



### ■12月5日「オープンイノベーションへの第一歩～温泉博士の挑戦」(東京都市大学教授 早坂信哉氏)

先ず、医学と健康、入浴の効果などについて、入浴事故の実態調査や危険因子の調査、「生活習慣としての入浴」「温泉の利用」の健康への寄与などの点から講義がありました。

次に、自治体や企業との積極的な協働を通してのオープンイノベーションへの一歩について、お話しいただきました。

自治医科大学を卒業し、へき地医療に携わっていた頃、訪問入浴と血圧について聞かれたことをきっかけに入浴事故の調査を開始した。その間、各地方公共団体や民間企業と共同で産学官連携により研究を続けた。その結果、高齢者の下記条件では、入浴関連の体調不良・事故の危険因子である可能性があることが分かった。熱海市での研究でも、自宅に温泉がある方が高血圧になりにくい研究データも取れた。

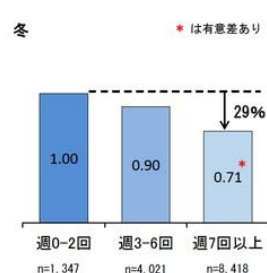
□ 160/100mmHg以上の血圧

(※入浴時にリスクのある条件です。)

□ 37.5℃以上の体温

□ 高齢者は「毎日の入浴」で要介護を防げる。風呂はいい。楽し、三割もリスクを減らせる

入浴の頻度が週7回以上の高齢者は、週2回以下しか入浴しない高齢者に比べて要介護認定リスクが約3割有意に低いことが明らかになった。全国18市町村に居住する要介護認定を受けていない高齢者1万3786人を3年間追跡した調査による。11月12日に開かれた日本老年学的評価研究(JAGES; Japan Gerontological Evaluation Study)プロジェクトのプレス発表会で、千葉大学の八木明男氏らの研究グループが報告した。JAGESプロジェクトで蓄積された大規模データを用いた前向きコホート研究で、入浴と介護予防との関係を年齢や手段のADLなど種々の交絡因子を補正して評価した初の研究。論文は日本疫学会が発行するJournal of Epidemiology誌に掲載された。



研究結果は、介護従事者、看護職、企業、一般市民になかなか伝わらない。研究結果が、情報が必要な人に伝わらなければ自己満足に終わる。一方で、入浴の研究していない者が、「専門家」として間違った情報発信していることも散見され、研究結果を積極的に正しく社会に伝えることも研究者の役割ではないか、と考えるようになった。それで、発信を始めた。発信された成果は、報道され、メディアがWEB化してくれるので、広がっていった。

結局のところ、オープンイノベーションとは、「新技術・新製品の開発に際して、組織の枠組みを越え、広く知識・技術の結集を図ること。一例として、産学官連携プロジェクトや異業種交流プロジェクト、大企業とベンチャー企業による共同研究」などが挙げられ、自分の研究もその一歩を歩み始めた。

## 中堅社員対象リーダーシップ研修

次世代を担う、人材育成、リーダーシップスキルと指導スキルの向上に役立つ研修です。

一流講師によるケーススタディを取り入れたディスカッション、ロールプレイ等、参加型の内容になっています。

人気の高い研修ですので、ぜひご参加ください。

【日 時】2020年2月13日(木) 9:30~17:00(受付 9:30)

【会 場】銀座プロッサム中央会館 7階会議室「ジャズミン」

【定 員】30名(定員になり次第、締め切りになります。)

【講 師】(株)エールライフ 田中 菜穂美 氏

【参加費】お一人様3,000円(教材費)

・世工振会員事業所 参加費の50%補助

・会員以外の事業所 参加費の30%補助

【締切日】2020年2月6日(木)

【お申し込み・お問合せ先】

(一社)東京工業団体連合会 事務局(担当:篠崎)

TEL:03-3546-2525

※詳細は、同封のチラシをご覧ください。

## 事前に役立つ！3Dものづくり活用講座開催

ぜひご参加ください

「事業に役立つ！3Dものづくり活用講座」

～1から学ぶ3Dの活用方法と新世代3D CAD Fusion 360のモデリング実習～

【日 時】2020年2月15日(土) 10:00~17:00

【会 場】IID 世田谷ものづくり学校(世田谷区池尻 2-4-5)

【実施内容】

- ① オリエンテーション:10:00~10:30
- ② 3Dソフトウェア操作体験:10:30~12:00
- ③ FUSION360 講習第1部:13:00~14:50
- ④ FUSION360 講習第2部:15:00~16:45
- ⑤クロージング:16:45~17:00

【お申し込み・お問合せ先】

世田谷工業振興協会 事務局

TEL:03-3421-2863

FAX:03-3422-4777

※詳細は、同封のチラシをご覧ください。

## 専門家(経営支援コーディネーター)による、経営に関するお悩み相談

経営支援コーディネーター(中小企業診断士 等)が経営に関するお悩みにお答えします。

まずはお電話ください。(TEL 3411-6613)

【対象】主な事業所が世田谷区内にある中小事業者

【問い合わせ】世田谷区産業振興公社 商業・ものづくり・経営支援係

TEL 3411-6613、HP <https://www.setagaya-icl.or.jp/>

経営支援コーディネーター紹介



小林診断士

- ・製造業
- ・コンテンツビジネス
- ・サービス業
- ・BCP
- ・経営全般



松原診断士

- ・飲食
- ・小売
- ・サービス業
- ・販路開拓
- ・経営全般



田島診断士

- ・IT
- ・品質管理
- ・業務分析
- ・財務会計
- ・経営全般

※詳細は、同封のチラシをご覧ください。

## 第24回「震災対策技術展」横浜 — 自然災害対策技術展 —

【日 時】2月6日(木)~7日(金) 10:00~17:00

【会 場】パシフィコ横浜 Dホール(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)

本格的な地震の活動期に入ったと言われている我が国では、地震だけにとどまらず、令和に入った今年5月以降も、5月日向灘地震、6月山形県沖地震、8月九州北部豪雨、9月台風第15号、10月台風第19号等、地震や気象災害が毎月のように立て続けに発生しています。

「震災対策技術展」は、震災対策・自然災害対策に焦点を当てた技術見本市で、防災・減災社会構築の一助となるべく、継続的に開催する展示会です。

世工振からは、災害時避難誘導塔 AE-TOWER を出展します。既にご存じのとおり、本タワーは、「ソーラー発電」+「バッテリー」+「照明」を搭載した「ソーラー避難誘導塔」です。

※同封の入場登録券をご参照下さい。